

商工おとふけ

発行 音更町商工会 音更町大通6丁目6番地
TEL 0155-42-2246 FAX 0155-42-2254
MAIL otosho.pro6@tuba.ocn.ne.jp
HP https://www.otofuke.jp/
発行責任者 総務広報委員会
委員長 向井直人

令和8年度

No.2

CONTENTS

- ◆夏まつり開催報告・・・1
- ◆青年部事業報告・・・2
- ◆商業部会販売促進事業・・・2
- ◆女性部事業報告・・・3～4
- ◆会員視察研修・・・4
- ◆音更ら〜麵村のお知らせ・・・5
- ◆経営指導員からのお知らせ・・・5
- ◆新会員ご紹介・・・5～6
- ◆編集後記、会員状況・・・6

夏まつり開催報告

私は近年、夏本番になるにつれて体調を崩すことが多く、「暑さの影響かな」と思っていました。しかし、よく振り返ってみると、8月のある時期を境に「ピタッ」と治まることが分かりました。……そう。「夏まつり」です。

そんな私のような鈍感な人間ですら、自然とプレッシャーを感じてしまう一大イベントですが、音更町民の皆さまに少しでも喜んでいただき、楽しんでいただきたいという思いから、実行委員会を中心に、商工会員や金融機関の皆さまのご協力のもと、8月1日（土）「第10回音更町商工会夏まつり」を開催いたしました。当日は、会場設営から多くの関係者の皆さまにご協力いただき、スムーズに準備を進めることができました。会場には飲食店や縁日など、たくさんの出店が並び、多くの来場者で賑わいました。ステージでは、音更駒太鼓をはじめ、ちびっこキッズダンスやバトンなど、迫力ある演目から可愛らしいパフォーマンスまで披露されました。また、「こおり健太」さんによる歌謡ショーでは、多くの来場者の皆さまに楽しんでいただきました。カラオケ大会も、出演者と来場者が一体となって盛り上がり、最後を飾る花火大会では、色鮮やかな花火が夏の夜空を彩りました。運営面では課題や改善点がありますが、無事に終えることができたことを何より嬉しく思います。これもひとえに、商工会員の皆さまをはじめ、金融機関、関係者の皆さまのご理解とご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。来年は、運営委員長がおっしゃっていたように、来場者の皆さまに楽しんでいただくことはもちろん、運営に携わる皆さんや参加する皆さんを含め、**関わるすべての人が楽しめる「夏まつり」**にしたいと思います。

今年もたくさんのご協賛を賜わり
誠にありがとうございました



青年部

FESTIVAL2026開催報告

7月5日（日）、共栄コミュニティセンター駐車場特設会場において、「音更FESTIVAL2026」を開催しました。今年で4回目を迎えた本イベントは、昨年までプロスバ6駐車場を会場としていましたが、雨天時の対応や猛暑による熱中症対策、さらなる規模拡大を目的に、今年から会場を移して開催しました。当日は天候にも恵まれ、過去最多となる約1,000人の来場者で賑わいました。ステージでは、町内4校の吹奏楽部をはじめ、音更バトントワーズ、サンドームヒップホップの皆さんによる演奏やパフォーマンスが披露され、会場を盛り上げました。会場には縁日や飲食ブースが並び、来場者はさまざまな催しやグルメを楽しみました。青年部による「うまい棒ソムリエ」には約90人が参加し、全問正解者はわずか3人。参加者の真剣な表情や、正解発表に一喜一憂する姿が見られました。フィナーレの恒例「お菓子撒き」も大いに盛り上がったほか、自衛隊車両の展示や体操クラブによる体験コーナーなど、新たな企画も実施しました。会場変更や新たな企画により、幅広い世代の皆さまに楽しんでいただけるイベントとなりました。今後も地域の皆さまに親しまれ、音更町を盛り上げるイベントとなるよう、青年部一同、企画・運営に取り組んでまいります。



商業部会

販売促進キャンペーン共同チラシの配布について

新規顧客の来店機会創出と固定客の来店回数の増加を図るために、今年も「地元のお店を利用してお買物券をゲットしよう!」と題して販売促進キャンペーンを実施し、商業部会員38事業所が参加します。10月1日（木）～11月15日（日）の期間中に参加店でお買物した際の「レシートまたは領収証（各1,000円以上）」を5店分集めてチラシ裏の封筒を切り取り応募していただくと、抽選で特賞（お買物券20,000円分）2本、1等賞（お買物券10,000円分）5本、ラッキー賞（お買物券2,000円分）60本が当たるキャンペーンとなっています。昨年度の当事業では、合計1,856件の応募があり、参加事業所への来店機会創出につながりました。今年もたくさんのご応募お待ちしております。

参加店一覧		おとふけ店	
江と屋 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	2倍セール セブヤ商店 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	金物 たかしま 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	おとふけ店 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818
セブヤ商店 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	セブヤ商店 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	セブヤ商店 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	セブヤ商店 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818

Seicomart		MaxValu		バゲーステンキ		Daiichi		GREEN	
セイコーマート 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	セイコーマート 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	MaxValu 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	MaxValu 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	バゲーステンキ 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	バゲーステンキ 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	Daiichi 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	Daiichi 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	GREEN 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818	GREEN 音更町大連7丁目 TEL: 0155-42-2818 FAX: 0155-42-2818

女性部

クラフトダストBOXづくり講習会を開催

7月6日（月）、ゴットアイ丸かご認定講師・紙かご屋ほんまの本間実苗氏を講師に迎え、11名の部員がクラフトダストBOXづくりに挑戦しました。紙バンドで作るダストBOXは、中に入れたビニール袋を取り出せる便利な仕様になっています。初心者でも楽しく取り組める作品で、参加した部員からは「最初は編み方が難しく大変だったけれど、少しずつ形になっていくのがうれしかった」との声も聞かれ、和気あいあいと楽しく作品づくりを楽しみました。



羅臼町商工会女性部をお迎えして「おもてなし交流事業」



7月7日（火）、今年度2回目となるおもてなし交流事業では、羅臼町商工会女性部の皆さまをお迎えしました。昼食交流のほか、（福）醸造醗酵渡部食品の麴や下村豆富店のおから・豆乳など、音更町の食材を活用した「おから味噌づくり」や、本間実苗氏を講師に迎えての「クラフトダストBOXづくり」を体験していただきました。部員みんなで音更町の食やものづくりの魅力を存分にPRし、笑顔あふれる交流のひとつとなりました。

上士幌町商工会女性部をお迎えして「おもてなし交流事業」

9月6日（日）、上士幌町商工会女性部の皆さまをお迎えし、おもてなし交流事業を行いました。近い地域ということもあり、初めから会話が弾み、終始和やかで活気のある交流となりました。音更町の食材を取り入れ、女性部が心を込めて準備した「おもてなしランチ」のバイキングも大変好評で、料理を囲みながらお互いの活動について情報交換を行いました。近隣地域だからこそ生まれるつながりを大切に、楽しく交流を深めることができました。



これからもおもてなし交流事業や研修を通して、地域の魅力を知り、伝え、そして人と人とのつながりを広げる活動を大切にしていきます。今回の交流で得た学びや経験を、これからの女性部活動に活かしていきます。

女性部

視察研修

7月26日（日）から27日（月）、7月7日に音更町へお越しいただいた羅臼町商工会女性部の皆さまを訪ね、今度は私たちが羅臼町のおもてなしを体験しました。羅臼町ならではの豊かな海の幸を味わい、生きたタラバガニを自分たちで調理する貴重な体験では、その場で茹でたカニを味わったり、生のままいただいたりと、そのおいしさに感動しました。また、昆布を使った体験や、心のこもった手作りのお土産もいただき、素晴らしいおもてなしに感激しました。知床第一ホテルに宿泊し、翌日は知床五湖を見学するなど、羅臼・知床の魅力を存分に体感した視察研修となりました。



会員交流委員会

地域ブランドと食文化を学ぶ 小樽・札幌会員視察研修

9月26日（土）・27日（日）の2日間、会員視察研修を実施しました。今回は、事務局2名を含む26名が参加し、小樽・札幌方面を訪れ、地域に根差した企業や地場産業に触れるとともに、会員相互の交流を深めました。

両日とも天候に恵まれ、予定していた行程をスムーズに進めることができました。1日目は音更町を出発し、まず小樽のかま栄を訪問。製造工程や店内を見学し、老舗企業のものづくりへのこだわりに触れました。その後、北一硝子周辺で自由散策と昼食を楽しみ、午後からはおたるワインギャラリーを訪問。ワイン製造や北海道産の原料を活かした商品づくりについて学び、試飲や買い物も楽しみました。夕方には札幌へ移動し、ホテルへチェックイン。夜はすすきのの飲食店で懇親会を開催し、仕事や地域の話など会話が弾み、和やかな交流の時間となりました。2日目は、さっぽろオータムフェストや街中を自由散策。北海道各地の食や特産品を楽しみながら、札幌の秋を満喫しました。今回の研修では、小樽の地場産業や北海道の食・ものづくりに触れ、地域資源を活かした商品づくりやブランドの魅力を体感するとともに、会員同士の交流も深まる充実した2日間となりました。



「音更ら～麺村」を開催します！

北海道産小麦と音更産ブロッコリーを使ったご当地ラーメンを味わえる「2026音更ら～麺村」を、10月18日（日）に道の駅おとふけ なつぞらのふる里北側広場で開催します。今年は、町内外から11店舗が出店し、それぞれ趣向を凝らしたラーメンを提供します。チケットは1枚1,000円で、好きなラーメンを2杯食べ比べることができます。また、チケット購入者を対象としたガラポン抽選会も行います。会場では、YOSAKOIソーラン第23回十勝支部大会が開催され、今年度の大賞チームをはじめ、音更駒太鼓の演奏や、ふわふわドームのほか、豚まんやしゅうまい、ブロッコリー生麺などの販売も予定しています。ラーメンはもちろん、迫力あるYOSAKOIの演舞など、子どもから大人まで楽しめる催しが盛りだくさんです。ぜひご家族やお友達とお越しください。

日 時：10月18日（日）10：00～14：00

会 場：道の駅おとふけ なつぞらのふる里 北側広場

※イベントの詳細は同封のチラシをご覧ください。

経営指導員からのお知らせ

＼時間額1,075円から時間額1,131円に引き上げとなりました／

北海道最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人）及びその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額

時間額

1,131 円

効力発生年月日

令和8年10月1日

新会員ご紹介

事業所名 株式会社ワクタス
業 種 情報通信業
代表者名 鈴木 孝典
所在地 音更町東和東1線19
電話番号 090-6261-5718
H P <https://wakutas.co.jp/>
Instagram



@TENSHOKU_TOKACHI



PICK UP

十勝特化でネットを使った採用集客の事業をしております。企業の広報担当社員のイメージで、企画からSNS撮影、編集、アップロードまでを行っております。帯広信用金庫様とも提携し、十勝管内のお客様の経営課題を解決しておりますので求人票を出しても応募がこない、ビジョンに共感した人材が欲しいとお考えの企業様はお気軽にご連絡ください。弊社の事業説明と合わせて、十勝管内の成功事例をお伝えいたします。

新会員ご紹介

事業所名 オフィス・シロ
業 種 サービス業（記録・アーカイブの企画／制作）
代表者名 岩崎 量示
所在地 音更町新通2丁目
HP <https://www.office-shiro.com/>
Instagram



PICK UP



オフィス・シロの岩崎です。北海道好きが高じて、21年前に埼玉県から十勝へ移り住みました。以来、崩落間近とされる「幻の橋」・タウシュベツ川橋梁（上士幌町）を撮り続けています。その記録は、2冊の写真集（北海道新聞社）や自主制作の記録集、映像作品のDVDになりました。北海道の観光ポスターや郵便切手にも採用されています。残した記録が、時間を経て価値に変わることがあります。かつて無名だったこの橋が、道内でも名だたる観光地になっていく過程を、現場で見てきました。埋もれている宝は、掘り起こすだけで光を放ちます。ただ、身近なものには意外と気づかないもの。

見つけ、掘り起こし、届けるまでを企画しています。伴走者が必要な場面で、どうぞ気軽にお声かけください。



編集後記

久しぶりに過ごしやすい夏になって、ホッとしたような少し物足りないような。商工会夏まつりの日の夜風は若干肌さも感じるくらいでしたが、風が上手く煙を流してくれて花火はとても綺麗でした。今年も沢山のお客様にご来場頂いて盛況のまま終えることができました。運営に携わられました会員の皆様、夜遅くまでお疲れさまでした。ここ数年は春と秋が一瞬で終わる年が続いていたので、また四季が感じられようになる事を期待しつつ、商工会の秋のイベントを皆様に堪能していただければと思います。実り多き秋になりますように。

総務広報委員長 向井 直人

現在の会員数

647件

令和8年9月25日現在

商工おとふけのバックナンバーはこちらからご覧いただけます⇒

